

# No.102

2017(平成29)年  
7月1日  
発行  
浄土真宗本願寺派  
和歌山教区日高組  
責任者  
藤本使朗



其のままと

聞くにつけても

涙かな

かぎりなき身を

すてし喚聲

貞信忌



宗祖降誕会 連休で里帰りのお孫さんたちも楽しみました(善宗寺)

## ヒダカくん・ひかりちゃんのお話 その六

### 『御文章』のお話 永原 智行

**ヒダカくん** 蓮如さんの改革(かいかく)から五百年。時代は変わったが、お参りをするスタイルは今も変わっていないんだよ。

**ひかりちゃん** 五百年も変わらなかったということは、それだけ蓮如さんの時代や人をみる目が確かだったのね。

**ヒダカ** 蓮如さんは、京都から逃げ出さなくてはならなかったことは不幸なことだったけど、それまで本願寺という伽藍(がらん)に引込んでいた門主が京都でないところを体験し、不幸な少年期を経験したことも、有意義なことだったと思うんだ。

**ひかり** 蓮如さんはどこへ逃げたの。

**ヒダカ** 51歳から57歳までは、大津の堅田(かたた) 滋賀県大津市)にいたんだ。この地域は、北陸と東国を結ぶ交通の要所で、活気(かっき)あふれる商業都市だったよ。琵琶湖の通行や漁業権を持っていて、時には海賊(かいぞく)になる人もいたそうだね。

**ひかり** 海賊?

**ヒダカ** 悪党とか海賊というのは権力者に刃向(はむ)かう人のことをいうんだ。経済力をつけ、信仰によりどころを求めたんだ。当時を代表する「一休さん」も、ここで修行をしていたんだよ。

**ひかり** 一休さんと同じ所にいたの?

**ヒダカ** ただし、堅田では接点はなかったんだ。その後、二人が会ったかどうかは研究者に任せるとして、一休さんは真宗には好意的なひとだったんだ。

蓮如さんが、堅田に来て、真宗に帰依し、その堅田の人が海賊をはたらいたことで、幕府が堅田を攻めたんだ。その上、大津といえば比叡山のお膝元でしょう。この土地に真宗が流行することは、比叡山の人には快くはないよね。そこで、幕府と結び、堅田を攻めたんだよ。

**ひかり** 京都に続いてまたなの。

**ヒダカ** それから何度も攻められているよ。攻められることで、当時のムラ社会で、横のつながりのなかった人たちに、信仰という横のつながりをもたせることになり、人のつながりの広がりを作ったともいえるんだ。今の言葉でいうとポーターレスということだよ。



# 法話

## 泥に染まらぬ蓮の花

池の中に咲いている蓮華は、車輪のように大きく、青色の蓮には青い光、黄色の蓮には黄色い光、赤色の蓮には赤い光、白色の蓮には白い光があり、それぞれ清らかな香りを放っています。

舍利弗よ、極楽にはこのような素晴らしい功德の莊嚴が備わっているのですよ。『聖典意訳』

### 境内の蓮

昨年、境内で御坊生まれの「舞姫蓮（まいひれん）」など数種類の蓮や睡蓮を鉢で育てています。残念ながら、舞姫蓮は開花しませんでした。今年こそはと水や温度管理を慎重に調整しながらようやく蕾がふくらみ始めました。

火鉢は永きに渡り寒い本堂で多くの参拝者に暖を与えていたもので、その役も灯油ストーブに譲り隠遁生活をしていましたが、蓮のおかげでようやくお寺に入りする方々の脚光を浴びるときがやってきたようです。

将来、組内の寺院にも分根できればとの思いもあり古い火鉢を活用して境内で蓮の花を楽しめることを夢見ています。

### お浄土の蓮

さて、阿彌陀經に説かれる西方極樂浄土には、いろいろな色の蓮の花が美しく咲いていて、それぞれ光り輝いていると言われています。

仏典によると供華莊嚴（くげしやうこん）の功德が説かれ、最上の華は「白蓮華」だそうです。サンスクリット語で「ブンダリーカ」、漢音写すると「分陀利華（ふんだりけ）」といわれています。

正信念仏偈にも「是人名分陀利華」とうたわれているのでご存じだと思いますが、念仏の人、信心の人をあらわし、泥中に根ざして咲く清らかな気高い花として最も適した表現だと思われまます。

初期の仏教では、花びらを散らす（散華）だけでしたが、やがて仏の持花や、現代のような瓶への挿花による莊嚴に発展していきました。

南方仏教の国々でも、信者さんが盛んに蓮華を寺院に供えているようです。唐初（618〜706）の敦煌石窟の壁画にも、すでに蓮の華を手に持つ菩薩や散華する天女が描かれています。

なぜ仏教において、これほど蓮の花を重要視するのでしょうか？

### 泥中の蓮

ご存じの通り、蓮は澄みきったきれいな場所ではなく、汚い泥の中に根をはわけて育ちます。泥の中で成長した蓮はやがて水面に出て花を咲かせます。その花は全く汚れがなく美しいのです。お釈迦さまがこの世のあらゆる汚れの苦しみのなかで、悟りという清らかな気高い花を咲かせたように、古来より蓮の花を悟りの仏花の象徴としてきたのではないかと思います。

その中でも最上の色が白蓮華だということです。確かに白という色はあらゆる色の原点であって、どんな色にも変わりゆく元の色であるとも言えるのですが、白色ばかりでは少し淋しい気がします。

みんなちがってみんないい

阿彌陀經には四色（青・黄・赤・白）の蓮が説かれています。それぞれ色の蓮がそれぞれ色を持ち、それぞれに光り輝いているからこそ尊いのであり、その色が違うのはなぜかということにそれぞれに役割があるからなのではないでしょうか。

会社に例えれば、社長さん、取締役さんがいて、部長や課長さんといった役職者がいて、社員がいる。なかでも派遣の社員やパート従業員もいます。トイレや廊下の掃除専門の方もいます。皆それぞれに役割が分担されて、一生懸命従事しているのです。

一つの会社で社長はひとり、社長が何人いても会社は成り立ちませんし、社員がいなければいくら立派な会社でも経営できませんよね。掃除担当の方もそうです。私たちがどこに行っても気持ちよくトイレを使用できるのは、彼らあってのことです。

このようにみると、一つの社会のなかではそれぞれに役目があり、そのうちのどれかが他と比較して劣っているなどとは言えないのではないのでしょうか。

それぞれの色や光は、個性を持ったまま一つの世界に調和がとれています。人間もそうではないかと思えます。一人だけがいくら輝いていても他が輝いていなければ、存在価値ははるかに薄れてしまうでしょう。

みんな違うから尊いのです。

### 功德莊嚴

阿彌陀經には「功德莊嚴（くどくしやうこん）」ということばが繰り返して使われています。「功德」は日常生活で「善や徳を積んで得られたもの」という意味で使用されます。しかし功德は自分の善い行いの善い思いで決まることではなく、すぐれた結果をもたらす能力という意味です。仏さまのすぐれたお働きをさまざまなお浄土のお莊嚴を見せることで示されています。

お浄土に咲く無数の蓮華がそれぞれに光り輝き、仏さまの功德を知らせるのです。

青・黄・赤・白の光が世界中に放たれ、しかもそれぞれの光が私に届き、確かな方向を与えて下さり、まことの道を歩むように働きかけて下さっているんだなあ、境内の蓮を眺めながら「阿彌陀經」の功德を喜んだ、初夏のある日のことでした。



志賀妙願寺の境内で6月下旬から9月頃までいろいろな蓮の花が見頃を迎えます  
鉢の中でメダカの赤ちゃんがすくすく育っています  
メダカはご希望の方に無料でお分けしていますよ

（楠原）



# 伝灯奉告法要参拝特集



専如門主伝灯奉告法要は、10期80日間の日程で行われ、ご満座最終の法要が5月31日つづがなご勤められ、ご満座の法要後には、ご門主が「ご消息」を發布され、念仏者の生き方を改めてお示し下さいました。

日高組からも昨年10月より4月まで5班に分かれて、総勢約三〇〇名が参拝し、貴重なご縁をいただきました。団体参拝に合わせて法要に出動した組内の住職方も数名おられ、ひととき喜びをかみしめていました。

### 伝灯奉告法要御満座の消息(抜粋)

これからの生活においても、私たち一人ひとりが真実信心をいたし、お慈悲の有り難さ尊さを人々に正しくわかりやすくお伝えすることが基本です。そして同時に、仏さまのような執われのない完全に清らかな行いのできることも、それぞの場で念仏者の生き方を目指し、精一杯努めさせていただくことが大切です。

み教えに生かされ、み教えをひろめ、さらに自他ともに心安らぐ社会を実現するため、これからも共に精進させていきたいと思います。

スマートフォンからもアクセスしてね！



日高組ホームページ

ひかり編集委員会では、紙面を充実するため日頃の寺院活動や読者の皆様からの投稿を、募集しています。寺院独自の法座やイベントに限らず、疑問に感じたことなどご投稿いただけますようご協力をお願いします。紙面及びホームページに掲載させていただきます。希望される方は、日高組メール hidakaso1712@gmail.com まで送信をお願いします。また「ひかり」に関するご意見感想など法悦クイズとともにどしどしご投稿ください。ハガキまたは、ホームページからご投稿いただけます。

希望される方は、日高組メール hidakaso1712@gmail.com

まで送信をお願いします。また「ひかり」に関するご意見感想など法悦クイズとともにどしどしご投稿ください。ハガキまたは、ホームページからご投稿いただけます。

法要最終日のご満座で「ご消息」発布





### 毎年町内五ヶ寺で 合同開催

**由良地区降誕会**  
4月23日、満開の八重桜が出迎える中、由良町内の蓮専寺において大勢のご参詣をいただき賑やかに営まれました。前日の中相忌(蓮如忌)に引き続いてのことでした。  
布教使の大阪教区安方哲爾師により、「阿弥陀さまのお慈悲はナンマンダブツと私に至り届いて、お浄土参りの身に仕上げられている」とのお取り次ぎをいただき、親鸞聖人がこの世にご誕生くださった意義をあらためてお聞かせにあずかりました。また、法要後にはお餅が配られ、豪華賞品?が当たるくじ引きをして大いに盛り上がりました。

## 子ども若者 ご縁づくり



### 離郷門徒も参拝しやすく!

**善正寺降誕会**  
5月5日のこの日、降誕会法座「子供の集い」を開催しました。  
門徒戸数の少ない寺院でもあり、平素は数人の子供しかいない状況ですが、ゴールデンウィークのこの日、毎年の恒例行事として行っていることもあり、郷里を離れた方々が里帰りし、集いに参加してくるようになりました。  
この法座では、親鸞聖人のご誕生をお祝いするとともに、ご門徒から長寿「米寿・喜寿・古稀など」人生の節目の祝いとして本堂に供物をしてくださるのです。  
今年も4名の方からお供物をいただきました。  
おつとめ、お話しのお供物(紅白餅・お菓子・パンなど)が参拝者に配られます。  
子供達が集う目的はお供物をいただける楽しみからかも知れませんが、本堂に集い、若い親御さんやおじいちゃんおばあちゃんと一緒に読経し、阿弥陀さまに手を合わせるご縁をいただくことは尊いことだと毎年続けています。



親鸞聖人のご誕生を祝う「宗祖降誕会」(しゅうそごうたんえ)が組内各地の寺院で営まれ、祝賀行事も催され、どのお寺も大勢のご門徒で賑わいました。  
親鸞聖人は平安末期の1173年、日野の里(現在の京都市伏見区日野)でご誕生されました。  
本願寺では宗祖の誕生日の5月21日に降誕会が営まれ、今年も国宝の唐門(日暮らし門)が一九八三年以来34年ぶりに開門され、約五千人もの人が門をくぐつたとニュース・新聞などで報じられました。  
仏教寺院の行事といえはともするとお葬式や年忌など以外想像がつかないと思うでしょうが、「降誕会」をはじめ、「仏前結婚式」や「初参式」など「慶事」の法要も多くあります。



## 降誕会特集

P4. P5

### 茶話会で懇談!

**衣奈地区降誕会**  
4月9日(日)午後1時30分から衣奈地区3ヶ寺(西教寺、信行寺、円明寺)の降誕会が西教寺で営まれました。  
「正信念仏偈作法」のお勤めの後、岩崎法明師(蓮専寺住職)からご法話をいただきました。  
法要終了後、例年は3ヶ寺の総代と法中で会食していますが、今年は都合によりお茶での懇談会となりました。

### お餅まきで賑わう!

**妙願寺降誕会**  
5月7日(日)、おつとめ、法話のあとはお餅まきで賑わいました。  
小さなお子さまも境内の芝生を走り回り、沢山のお餅やお菓子を大きな袋に詰めて大満足でした。



### 鷺森別院降誕会

5月20日(土)、11時から初参式、13時半から降誕会のおつとめで大勢の参拝者が別院本堂に集まりました。  
法要後は、奈良教区光明寺住職の三浦明利さんの法話と弾き語り盛りの上がりました。



# 御同朋の社会をめざす運動 (実践運動)

# 平成29年度 日高組重点プロジェクト

## 総合 テーマ

## 実践目標

## 達成目標

## 29年度 推進計画

### 結ぶ絆から、 広がるご縁へ

## 老若男女が集まるお寺にしよう

組連研・真宗法座・キッズサンガの開催、組報「ひかり」の発刊、ホームページ更新、単位仏社の発足支援、子育て世代の支援、ビハーラ活動の推進などにより、全世代の同朋にお寺の魅力を発信できる活動を推進する

### I 伝道教化・法座活動の実践

- ①第10期組連研、真宗法座を開催し、門徒推進員の育成を図る
- ②組内の葬送儀礼などの統一を図る  
本山・別院の法要への出勤、参拝を奨励する  
教区勤式講習会や僧侶研修会などで研鑽する
- ③組報ひかりの内容を充実させ、配布部数を拡大する

みんなで  
実践しよう

### II 寺院活動の活性化の支援

- ①組仏社の活動再開と寺院仏社発足の支援を行う
- ②キッズサンガなどを通じて、仏の子どもの育成や子育て世代の支援など、次世代を担う人材を育成する
- ③ビハーラ活動を実践する(地元で独居高齢者などの見守りや話し相手などを寺院関係者全員が自発的に行う)

日高組では、僧侶、寺族、門信徒の全員がそれぞれの場で「実践運動」に取り組むことを目標にしています



ホームページ、またはハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、所属寺、紙面についてのご感想、ご意見等を明記の上、下記までお送り下さい。

〒649-1221 和歌山県日高郡  
日高町志賀2988番地  
妙願寺内 日高組事務所 宛

☆抽選で10名の方に粗品を  
進呈します。

締切 平成29年9月20日(必着)

発表は次号です

# 法悦クイズ

「ダーナ」の意味はどれでしょう？

次の1～3の中から一つ選んで番号を書いてください。

1. 慈善の行為全般をさす
2. 自己満足の行為をいう
3. 布施(ふせ)のことで、喜捨(きしゃ)の心で行う

101号の正解は、「1. 合掌した両手を輪の中に収め、親指で軽く押さえる」でした。  
正解者の中から、次の方に粗品を進呈いたします。

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 由良町 中崎エミコ 様 | 由良町 中口小夜美 様 |
| 由良町 成田 紀枝 様 | 由良町 松下 光男 様 |
| 由良町 岩崎 信子 様 | 由良町 畑中 靖子 様 |
| 由良町 久保千代子 様 | 由良町 畑中 宏之 様 |
| 御坊市 塩田 廣一 様 |             |

# 佐々木創大くん 初参式

## ～子ども若者ご縁づくり～



3月4日(土)、佐々木祐太さん、恵理さんの間にお生まれになった創大くんの初参式(しょさんしき)が由良町里の蓮専寺で営まれました。

お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなの笑顔がたえません。

創大くんはみんなよってたかって大切に育てられています。

お寺での初参式は「関わり・つながり」でもあります。お育てには住職・坊主・寺族も加わらせていただきます。

いっしょに手を合わせ、ナンマンダブツ・・・、そんな日も近いことでしょう。

阿弥陀さまのお慈悲のなかですくすくと育ててくださいることを願ってやみません。

### 初参式

浄土真宗の門信徒のご家庭に生まれた赤ちゃんが初めてお寺にお参りする「初参式」は、尊いご縁によって恵まれた新しいのちを阿弥陀如来さまの御前にて、ご家族やご縁のある方々がそろってお祝いし、感謝するお式です。また、人生における慶事(誕生初参、入学、卒業、成人、結婚など)の各種奉告参拝もお申し込みいただけます。内容は本堂でのおつとめ、お焼香、記念撮影、記念品の贈呈など。詳細はお手次の寺院にご相談ください。(所要時間:約30分程度)



# 門徒心得

## おつとめの作法

仏前でのおつとめの作法について心得ておきましょう。  
すでに、毎日勤行(おつとめ)されておられる方はともかく、されていない方は、次の手順でおつとめしましょう。

- ①お仏壇のお花が枯れていたり、お仏壇の内部が汚れていたりしたら、きれいにしましょう。
- ②輪灯やローソクなどを点灯しましょう。
- ③香を供えます。線香は香炉の大きさに合わせて折り、立てずに寝かせて香炉に入れましょう。
- ④お念珠を手に取り、合掌礼拝します。合掌時には必ず「なんまんだぶ、なんまんだぶ」とお念仏をとえましょう。
- ⑤経本(聖典)をおしいたき、おつとめをはじめましょう。キン(鐘)はおつとめの定められた箇所のみで打ちます。聖典によっては〇印で打つ箇所が記載されています。
- ⑥おつとめが終われば聖典を閉じておしいたき、経机やひざの上に置き、合掌礼拝しましょう。もちろん称名も忘れないうでください。
- ⑦最後に灯明を消し、火元を確認しましょう。これでおつとめは終わりです。

おつとめできて良かったね。阿弥陀さまも喜んでおられることでしょう。(鈴木)





# うっとうしいこの時期、蓮の花を観て心癒やされませんか？



**北吉田 「舞妃蓮の郷」**  
道成寺にほど近い舞妃蓮の郷。「北吉田蓮保存会」の佐竹成公会長が東屋や歩道を整備し、観蓮会も催される。

**五反田 大賀蓮池**  
北吉田の舞妃蓮の郷から徒歩3分にある。



## 御坊日高蓮の名所

**北塩屋 中山池**  
御坊生まれの舞妃蓮(まいひれん)黄花の蓮(王子蓮)と大賀蓮を阪本先生が交配し生まれた蓮です。昭和43年に、この蓮根を皇室に献上し、昭和44年に開花した花の姿から命名されました。御坊市塩屋町北塩屋

**三尾 大賀蓮池**  
日の岬パーク近くの大賀池では、蓮の権威である大賀一郎博士が古代の蓮を開花させた大賀蓮が水面に咲き誇ります。ここでは大賀博士の教え子、故阪本祐二先生が昭和37年から種を植え栽培され、和歌山大賀ハス保存会が管理されています。  
美浜町三尾



## 日高組通信

### ☆行事報告

#### ◎平成28年度日高組定期総会

3月25日、由良町阿戸教専寺にて日高組組会議員により僧侶門徒の組会議員24名が出席、28年度事業報告、決算報告、29年度事業計画、予算案が審議され、原案通り承認可決されました。

また、組会に先立ち28年度日高組役職物故者の追悼法要を厳修し、教専寺永原智行住職より法話がなされました。

#### ◎門徒総代会総会

29年度総会が4月8日、由良町里蓮専寺にて開催されました。

#### ◎仏教婦人会連盟総会・物故会員追悼法要

4月29日、日高町志賀即生寺にて開催、総会に先立ち28年度の物故会員追悼法要が営われました。

#### ◎仏教壮年会連盟役員会

3月、6月、日高町志賀善宗寺にて開催され、役員選出、29年度活動計画・総会日程など協議しました。

#### ◎専如門主伝灯奉告法要団体参拝

日高組主催の伝灯奉告法要団体参拝を3月12日に1班、由良町各地区より一五三名がバス4台で、4月26日に2班、日高町4ヶ寺37名が参拝しました。日高組からの参拝者は合計5班約三〇〇名に及びました。多くのご参拝ありがとうございました。  
(特集記事3面参照)

#### ◎第1回組内会

6月17日、日高町志賀即生寺にて、28年度実践運動推進運動の各部門の予定、キッスサンガ、第10期連研の運営などについて話し合いました。

### ☆行事予定

#### ◎門徒総代会前期研修会

7月15日(土)、午後一時半から四行寺にて開催予定です。中岡順忍教区教務所長から「念仏者の生き方」について学ぶの講題で研修します。

#### ◎日高組キッスサンガ(子供のつどい)

7月29日(土)由良町里蓮専寺にて第11回目となるキッスサンガが催されます。

「お寺をこどもの居場所に！」をスローガンに、楽しいイベントも用意。お誘い合わせ是非ご参加下さい。詳細はお手次のお寺からご案内します。

#### ◎仏教壮年会 総会・研修会・懇親会

8月19日(土)、御坊市「花ご坊」にて、29年度総会・研修会・懇親会が開催されます。

#### ◎第3ブロック門信徒総研修会

9月30日(土)、日高別院にて教区が主催する「第3ブロック(日高組・御坊組・紀南組)の門信徒総研修会が開催されます。今年は日高組が運営担当となっており、会場準備など運営に教化団体のご協力を依頼させていただきます。

### ☆おしらせ

#### 得度

光専寺衆徒北山深翠さん(釋深翠)、蓮専寺衆徒岩崎信さん(釋慶信)が、2月27日得度されました。今後のご活躍を念じます。

#### 敬弔

日高町津久野円照寺住職丸山せつ子様が4月14日に逝去されました。ご生前のご苦勞を偲び、謹んで敬弔の意を表します。

### 「西本願寺あそび診療所」院長に就任!

本願寺前の「あそび診療所」の院長に、由良町阿戸教専寺門徒の川上明さん(64)が6月に就任された。緩和ケア内科の外来を既に始め、死と向き合いながら闘病する患者さんに宗教的な要素を含む部分を大事にして、「生と死につながる診療を」目指す。痛みなどのコントロールのみでなく心のケアも同時に行われる。



川上 明さん

### 読者の声

- ※ 先日伝灯奉告法要に参拝させて頂きありがとうございました。ごさいました。
- 感謝の気持ちと温かい心にふれて参拝できたことをうれしく思います。
- ※ いつも読ませてもらっています。色々知らないことや行事もひらかれていること、良くわかってとてもうれしいことです。
- ※ 発刊百号ありがとうございます。
- ※ 勉強させて頂き有難うございます。